『アルプラクラス』『アリッツ』
大型把手　組立取付説明書

説明書番号	
MN−1463	
表	改−2

◪ 本説明書では、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため次のような絵表示をしています。

絵表示	意　味
お願い	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されますので、「必ず行なっていただく事」を示しています。

◪ 本製品の明細は以下の通りです。

大型把手本体、ビスカバー、引手スペーサー、カラー
本体取付ビスセット、障子ストッパーセット、操作ラベル

◪ 用意する工具

メジャー、ノギス、ドリル(φ4.5、φ8、φ13)

お願い　外付サッシには取付けできません。(柱･建具にあたる可能性があります。)

お願い　窓タイプには取付けできません。

お願い　突合框には取付けできません。

お願い　大型把手取付け後、框の見える部分に操作ラベルを貼付けて下さい。

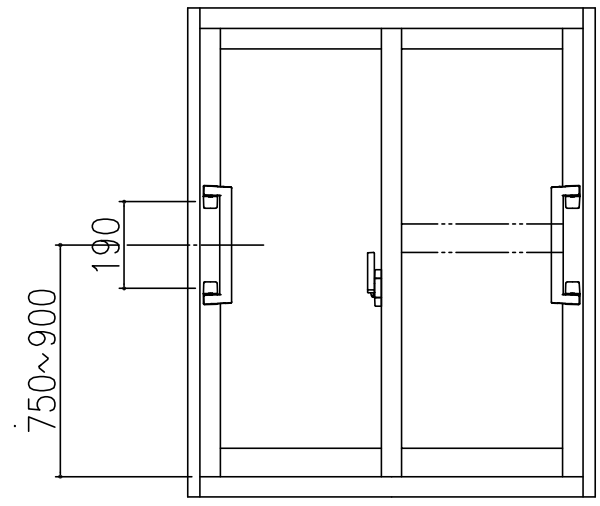
◪ 大型把手取付け位置の確認

・下枠アングルより750～900mm程度の高さに取付けて下さい。

お願い　取付け孔が外側の船底引手にかからないようにして下さい。(ターンナットでは固定できません。)

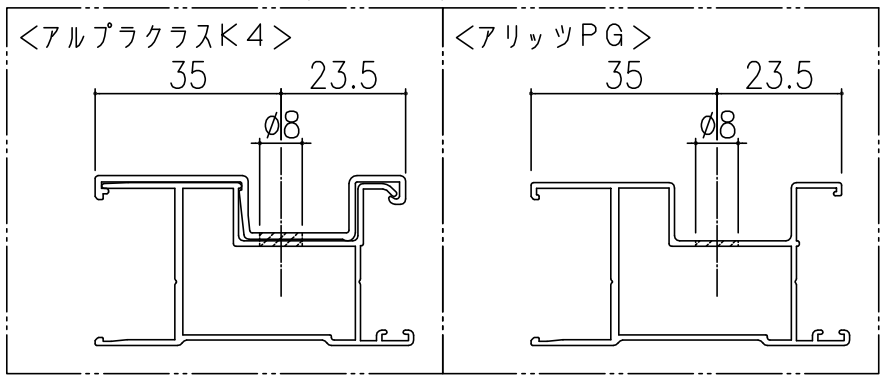
お願い　内観側のみ取付けが可能です。(外側は網戸が使用できなくなります。)

お願い　大型把手を座金組込みネジでビス止めする際に手廻しドライバーをご使用下さい。
締め付けトルクの強い充電式ドライバーを使用されると
ネジ持ちが空回りしネジが効かなくなる恐れがあります。



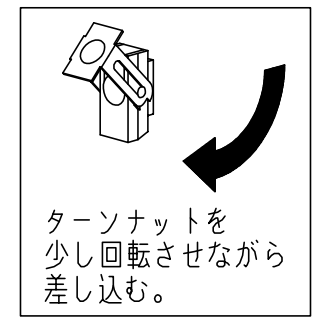
◪ 大型把手の取付け

1．縦框に把手の取付け位置出しを行い
下図を参照し孔明け加工(ドリルφ8)を行います。【図−1】

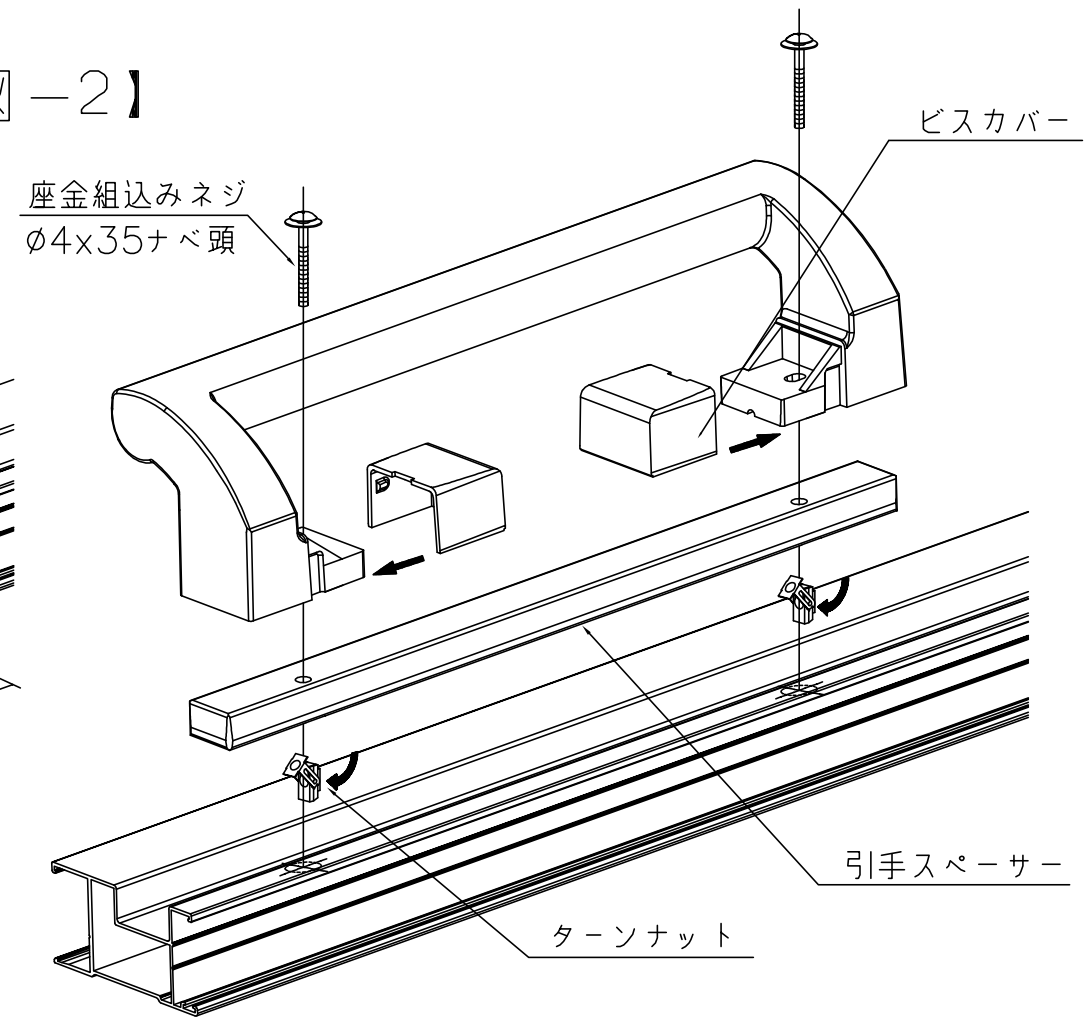


お願い　框を貫通させない様注意して孔明け加工を行って下さい。

2．ターンナットを下図のように框L方向に平行に少し回転させながら加工孔へ差し込みます。
3．引手スペーサーを所定の位置に設置します。【図−2】
方向性がありますので向きに注意して下さい。
4．座金組込みネジで大型把手を取付けます。
取付けビスを一旦逆転(1～2回)させ
→正転しネジ込みます。
5．ビスカバーを横方向より差し込みます。

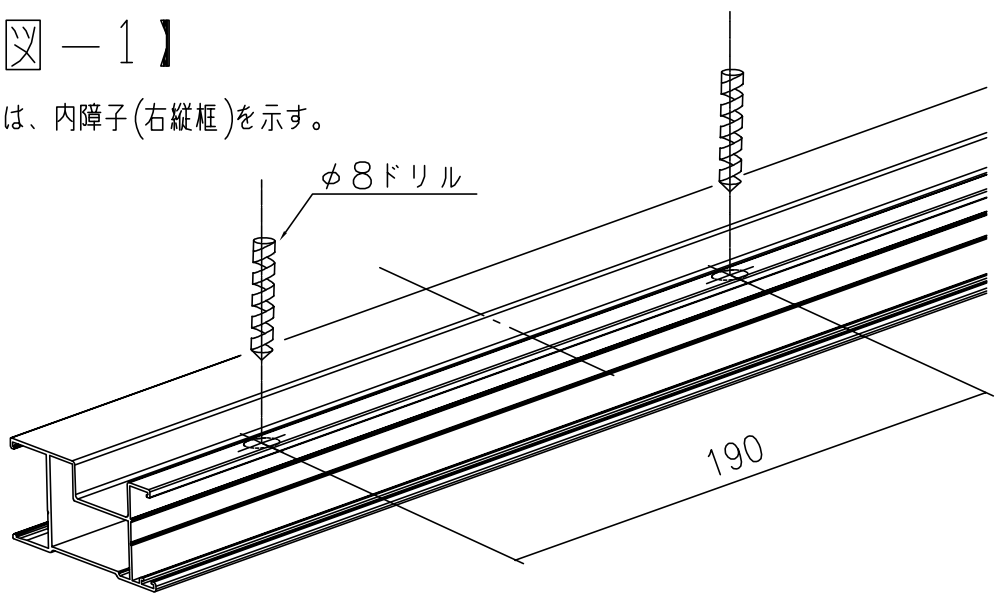


【図−2】



【図−1】

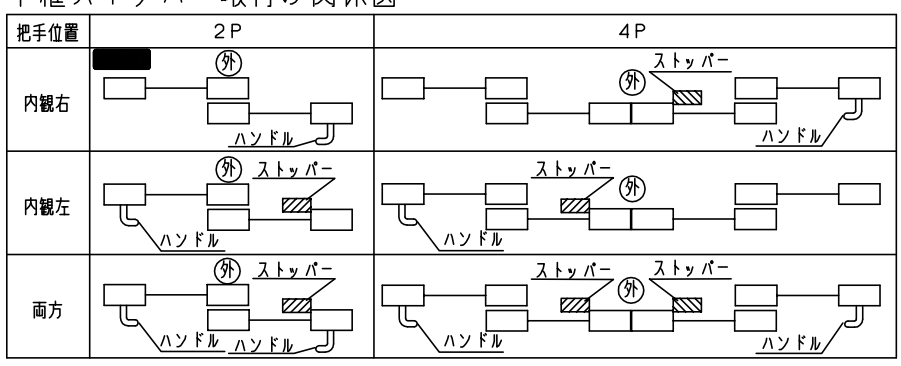
図は、内障子(右縦框)を示す。



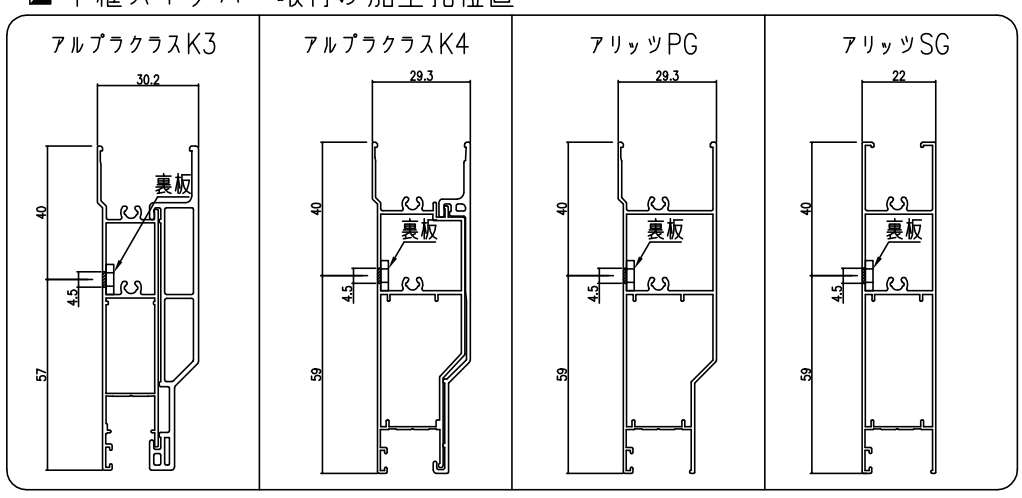
◪ 下框ストッパーの取付け

お願い 下框ストッパーの取付けは障子を組む前に行ってください。

◪ 下框ストッパー取付け関係図



◪ 下框ストッパー取付け加工孔位置



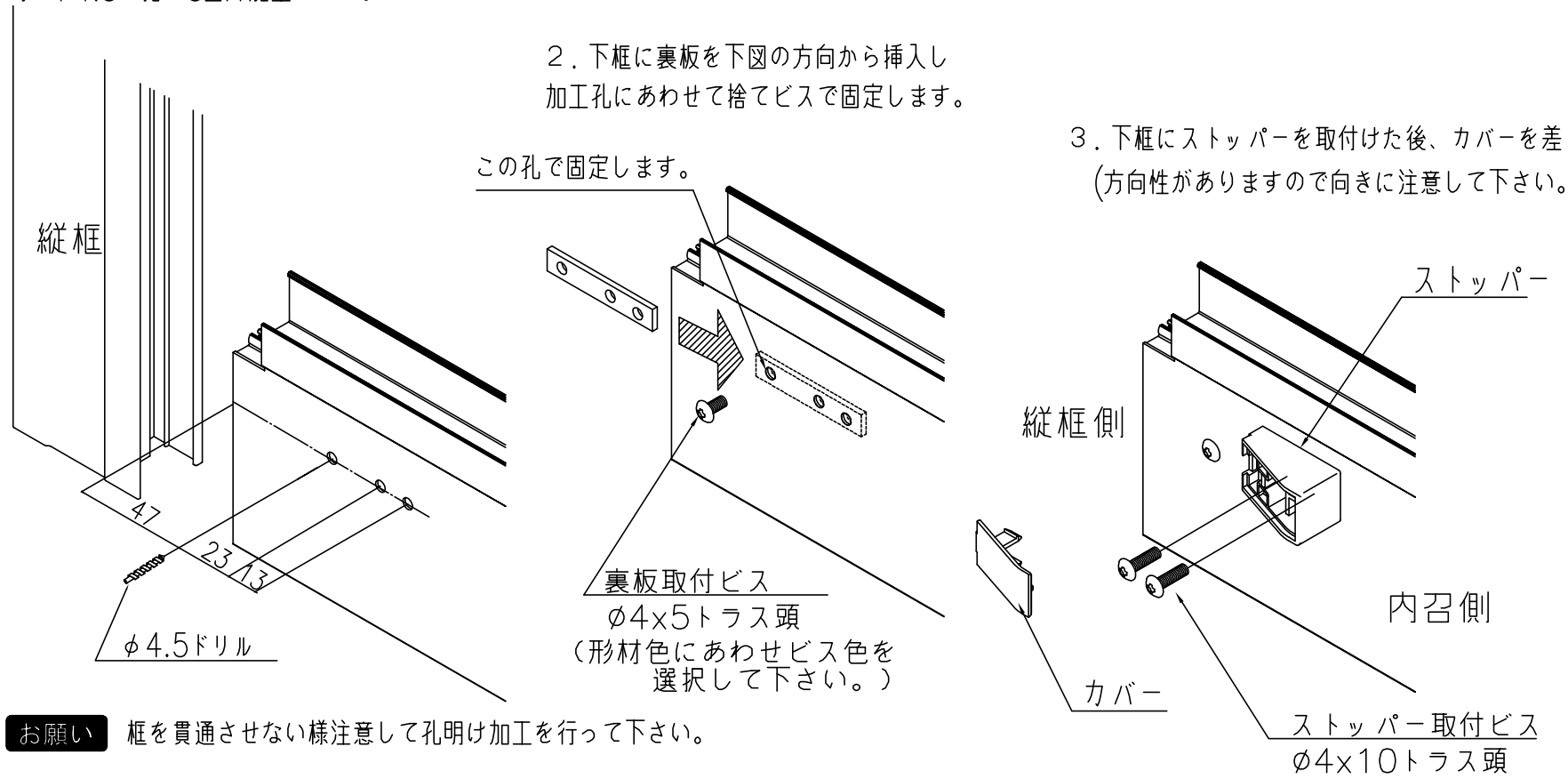
お願い

※大型把手を内観右側に取付ける場合、ストッパーは必要ありません。
※大型把手を3本レール3枚引き窓に取付ける場合、ストッパーは必要ありません。

1．下框に上右図および下図の位置を
参考にφ4.5の孔を3箇所加工します。

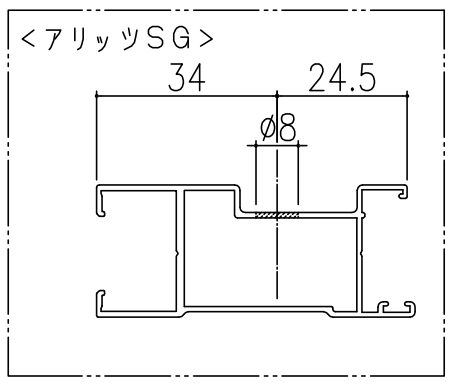
2．下框に裏板を下図の方向から挿入し
加工孔にあわせて捨てビスで固定します。

3．下框にストッパーを取付けた後、カバーを差し込みます。
(方向性がありますので向きに注意して下さい。)



お願い 框を貫通させない様注意して孔明け加工を行って下さい。

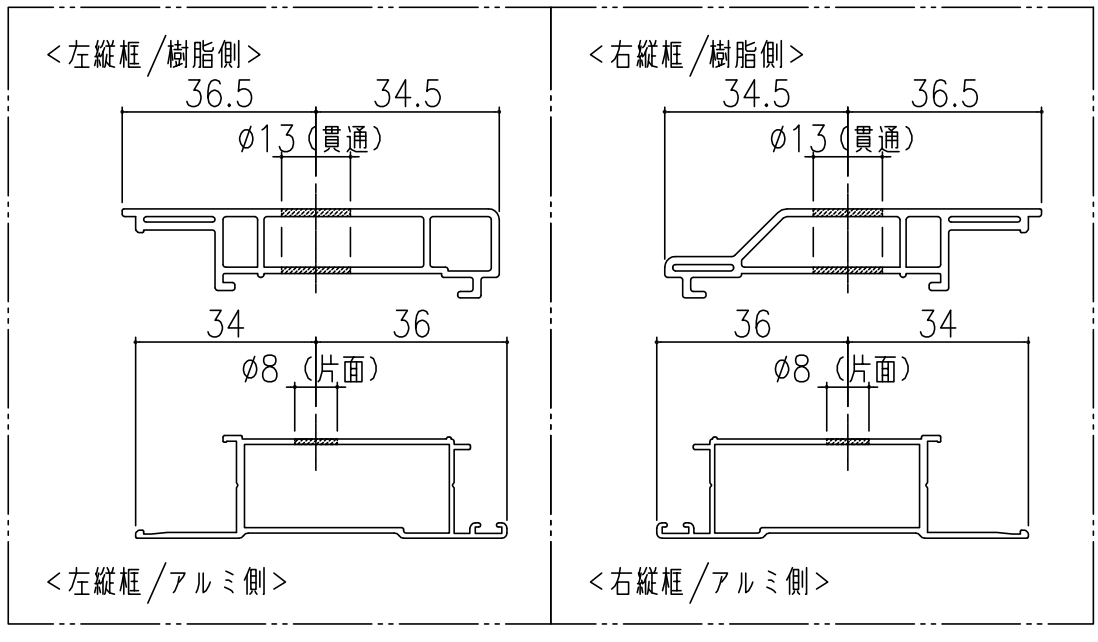
◪ アリッツSGの場合…引手スペーサー(幅21mm×高さ7.5mm)



1．左図を参照し孔明け加工(ドリルφ8)を行います。
2．PG用の取付け説明を参照し、部品付けを行って下さい。

お願い 引手スペーサーには、PG用とSG用の2種類が有ります。

◪ アルプラクラスK3の場合…巻ブッシュ(φ12×13mm)



1．縦框下端の樹脂ブロックを外し、樹脂形材とアルミ形材を
上下方向にスライドさせ分離します。
2．左図を参照し孔明け加工(ドリルφ8、φ13)を行います。
3．形材を嵌合させ、縦框下端の樹脂ブロックを取付けます。
4．樹脂形材側の孔にターンナットと巻ブッシュを差し込みます。
※引手スペーサーは必要有りません。
5．座金組込みネジで大型把手を取付けます。
6．ビスカバーを横方向より差し込みます。